

## 那 須 岳

### 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

### 11 月の概況

- ・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 2 - ）  
那須湯本（山頂火口（茶臼岳）の南東約 5 km）に設置してある遠望カメラでは、茶臼岳の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 100m で経過しました。
- ・地震や微動の発生状況（図 2 - ）  
那須岳付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図 3 ）  
GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

### 噴火警報、噴火予報の発表状況（12 月 6 日現在）

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、那須岳について噴火警報及び噴火予報の発表を開始しました。それに伴い、12 月 1 日に以下のような噴火予報を発表しました。なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

- ・活動状況及び予報警報事項：平常  
火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。那須岳の噴火予報・警報は、噴火予報（平常）です。



図 1 那須岳 茶臼岳付近の状況（11 月 18 日、那須湯本遠望カメラによる）

この資料は気象庁のほか、東北大学及び独立行政法人防災科学研究所のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ(標高)』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

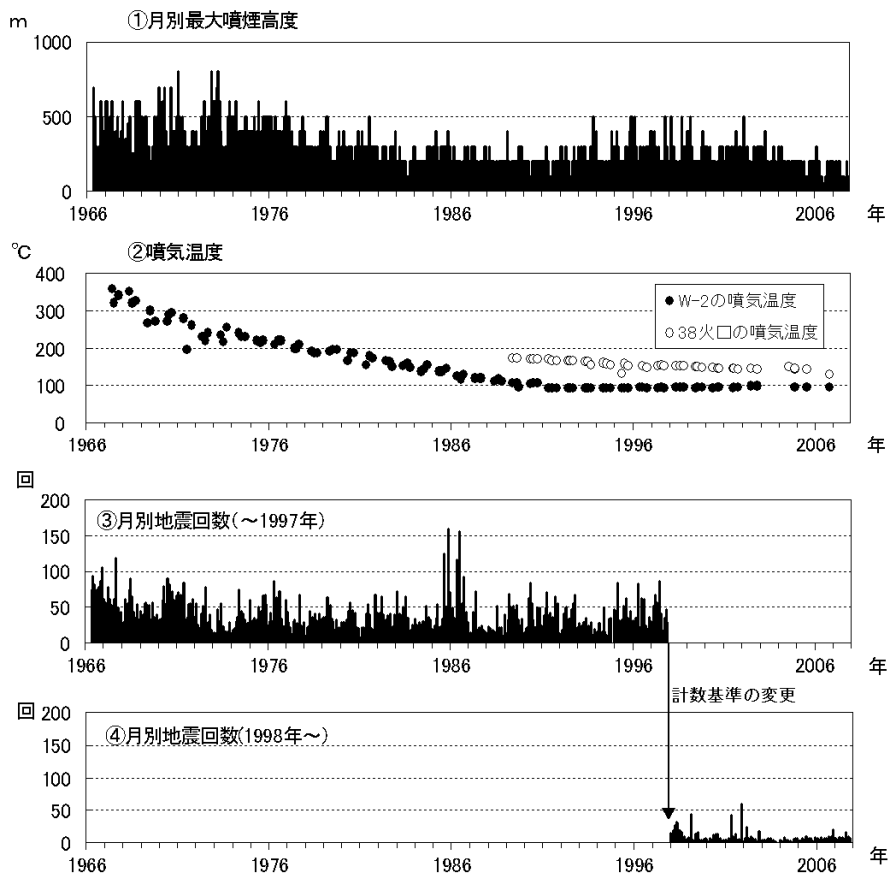


図2 那須岳 最近の火山活動の推移(1966年1月~2007年11月)  
 定時観測(09時・15時)による茶臼岳の月別最大噴煙高度  
 噴気温度(W-2及び38火口はいずれも茶臼岳西側斜面の温度観測定点)  
 那須岳周辺も含めた地震の月別回数 那須岳山体付近に発生した地震の月別回数

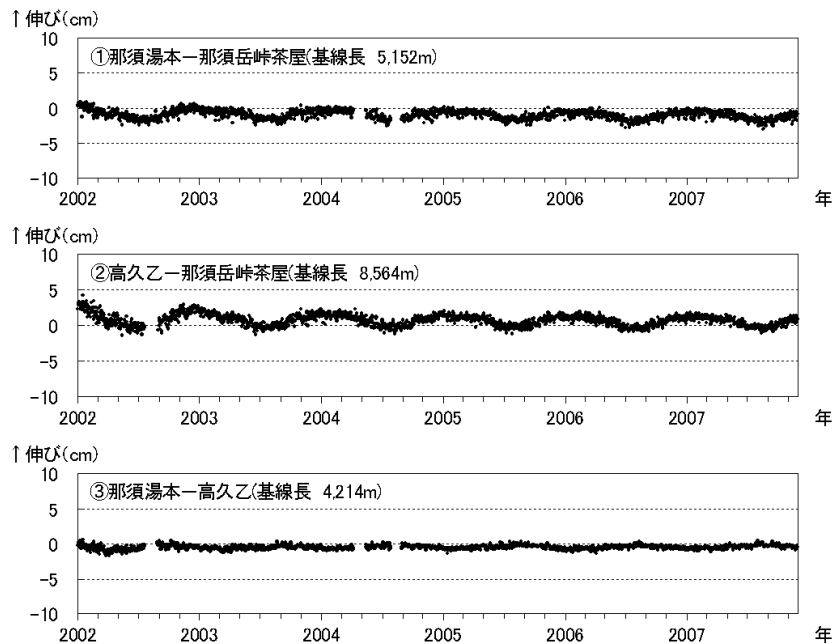


図3 那須岳 GPS連続観測による基線長変化(2002年1月~2007年11月)  
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。  
 ~ は図4のGPS基線 ~ に対応しています。

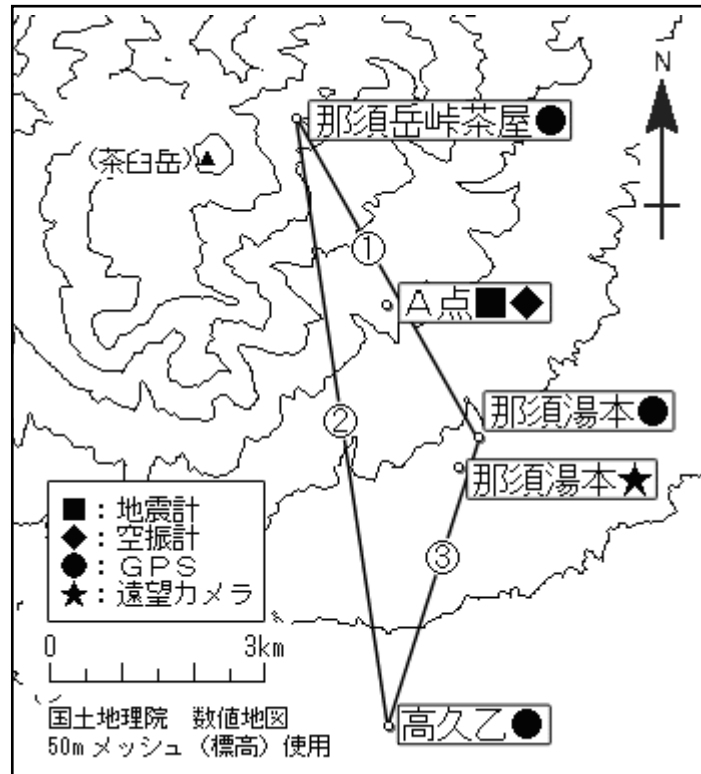


図4 那須岳 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）  
GPS 基線 ~ は図3の ~ に対応しています。